



前田建設工業株式会社

2017年3月期 決算説明

Financial Highlights, Year ending March 31, 2017

2017年5月15日

代表取締役社長 前田 操治

- 決算ハイライト
- 事業別ハイライト（建築・土木・インフラ運営）
- 資料集
- トピックス

決算ハイライト

Latest Financial Highlights

1

過去最高益（昨年に引き続き）

✓ 営業利益・経常利益・当期純利益 で更新

2

株主還元

✓ 年間配当金（予定） 14円/株（前期比 3円増配）

3

中期経営計画の業績目標をローリング

✓ 売上高・営業利益・経常利益を上方修正

連結

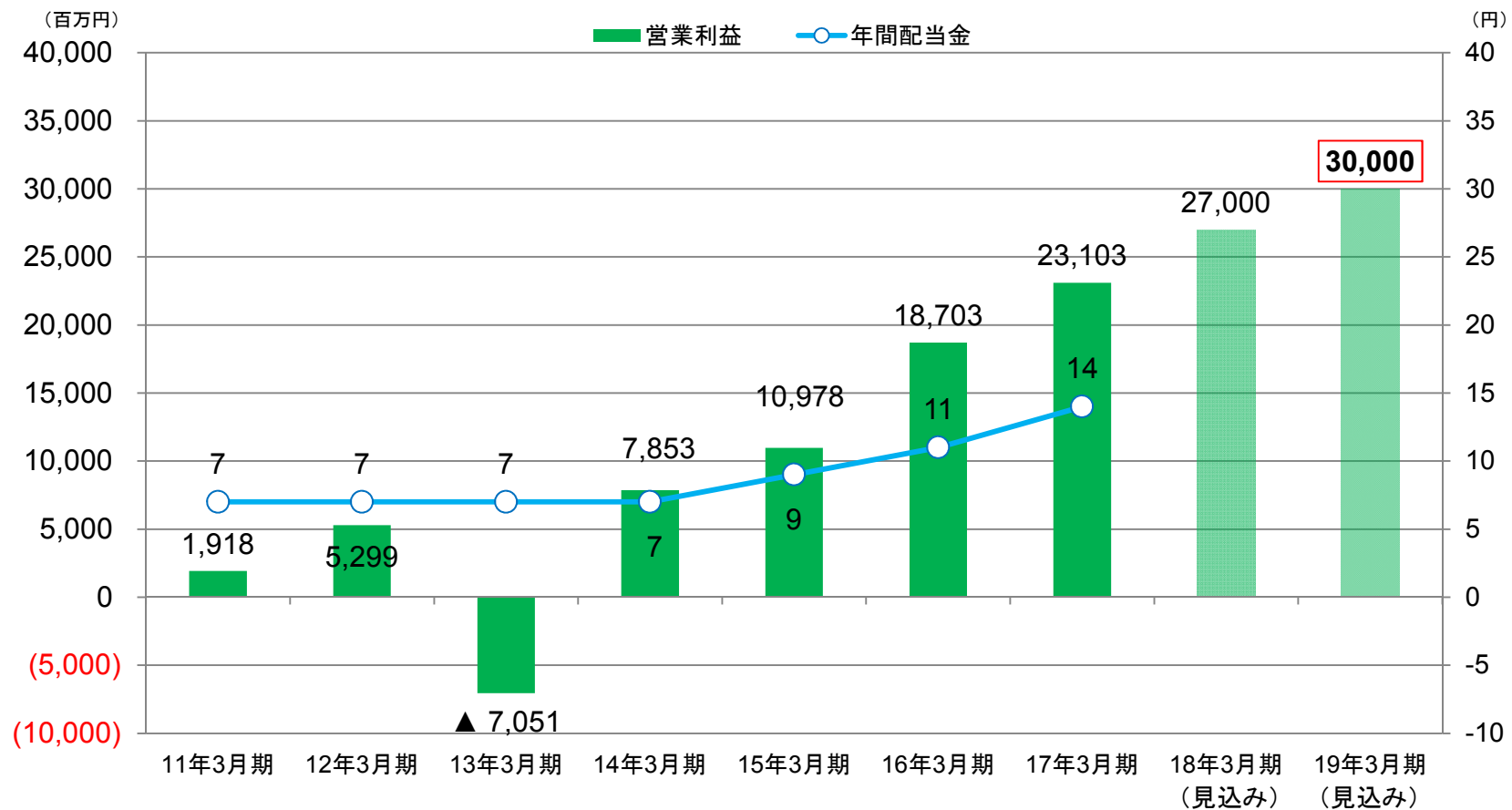
	当初目標	ローリング後
売上高	4,200億円	4,600億円
営業利益	210億円【5.0%】	300億円【6.5%】

個別

	当初目標	ローリング後
売上高	3,400億円	3,600億円
営業利益	180億円【5.3%】	225億円【6.3%】
経常利益	185億円【5.4%】	240億円【6.7%】

中期経営計画 最終年度(2019年3月期)連結業績目標のローリング

【売上高】 4,200億円 → **4,600億円**
 【営業利益】 210億円 (5.0%) → **300億円 (6.5%)**



事業別ハイライト

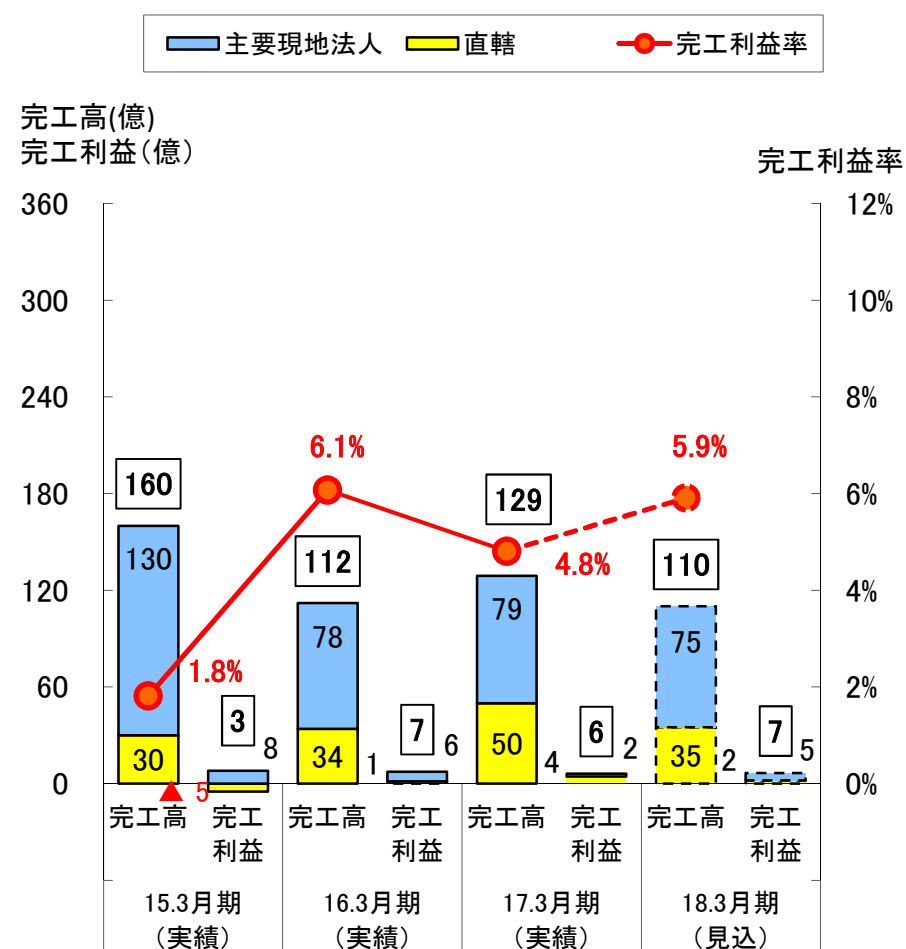
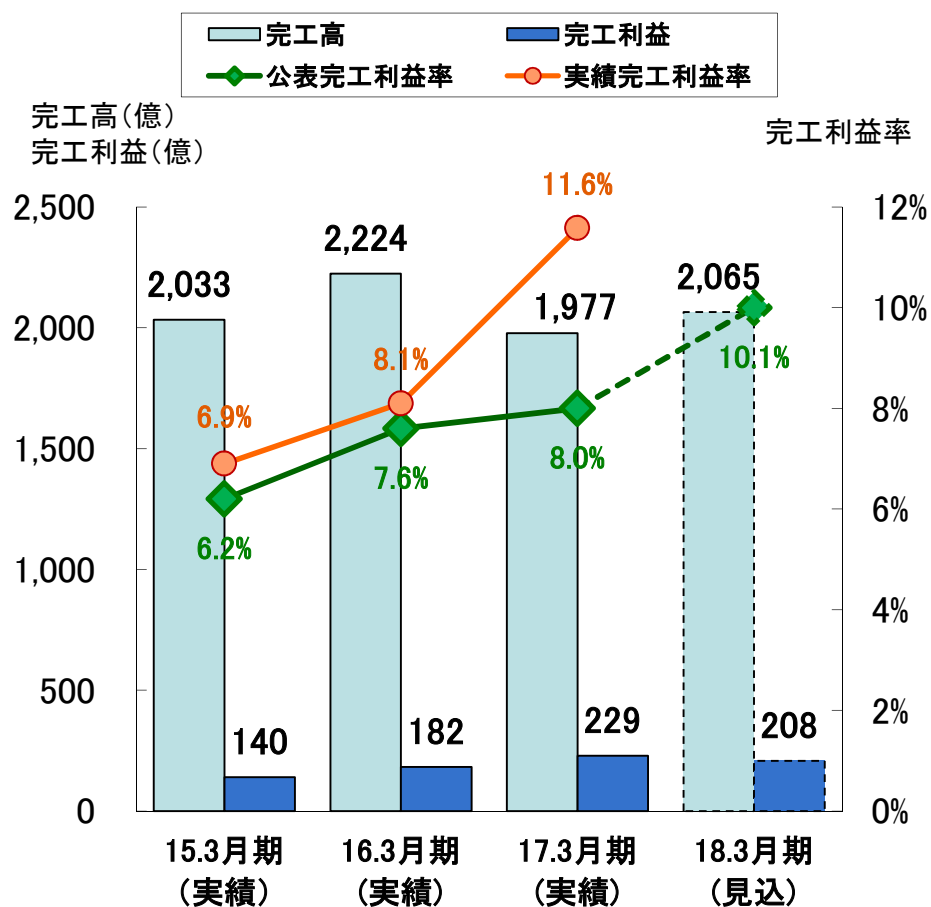
Latest Divisional Highlights

建築事業

- 期首手持工事の利益率が寄与し、完工利益率は11.6%に向上(17.3月期)
- 労務・資材の動向に注視しつつ、利益を向上(18.3月期)

国内

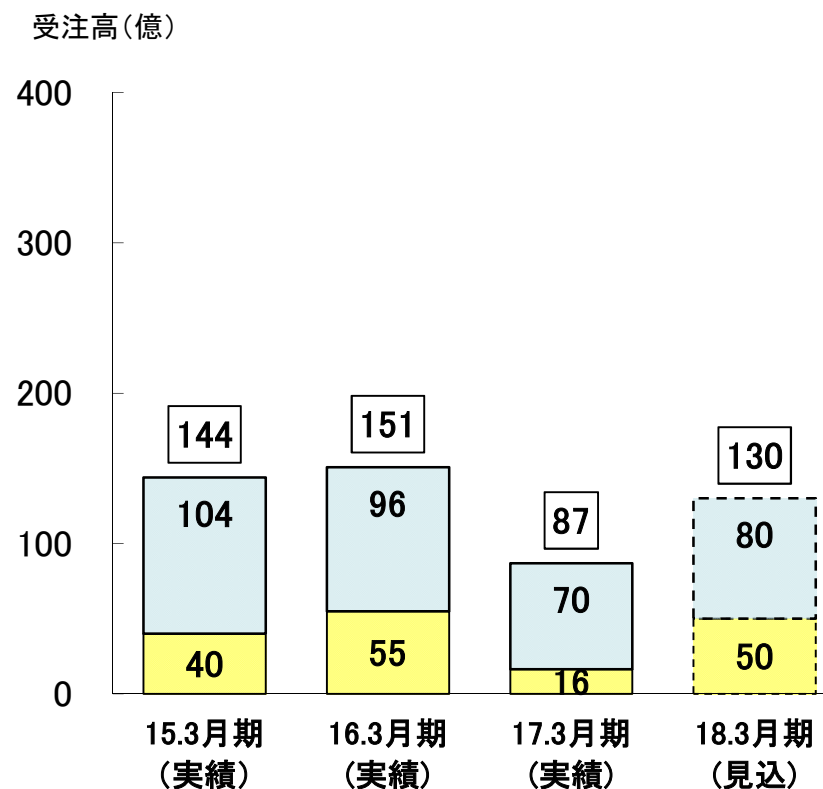
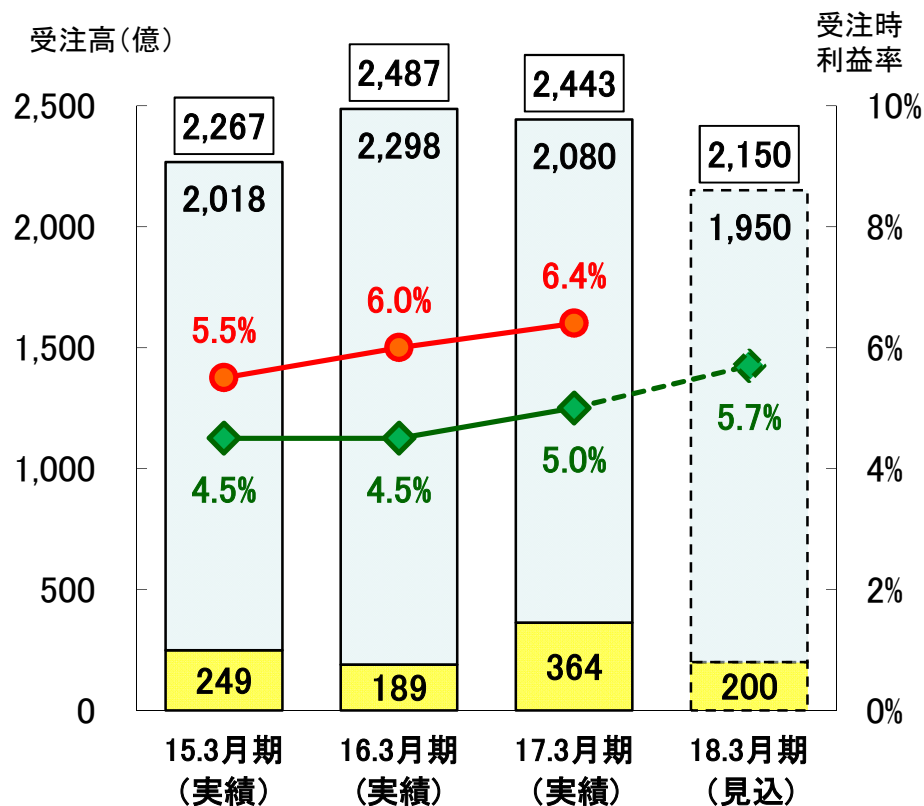
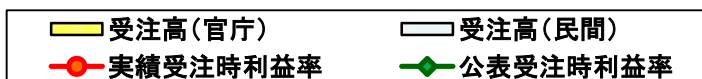
海外



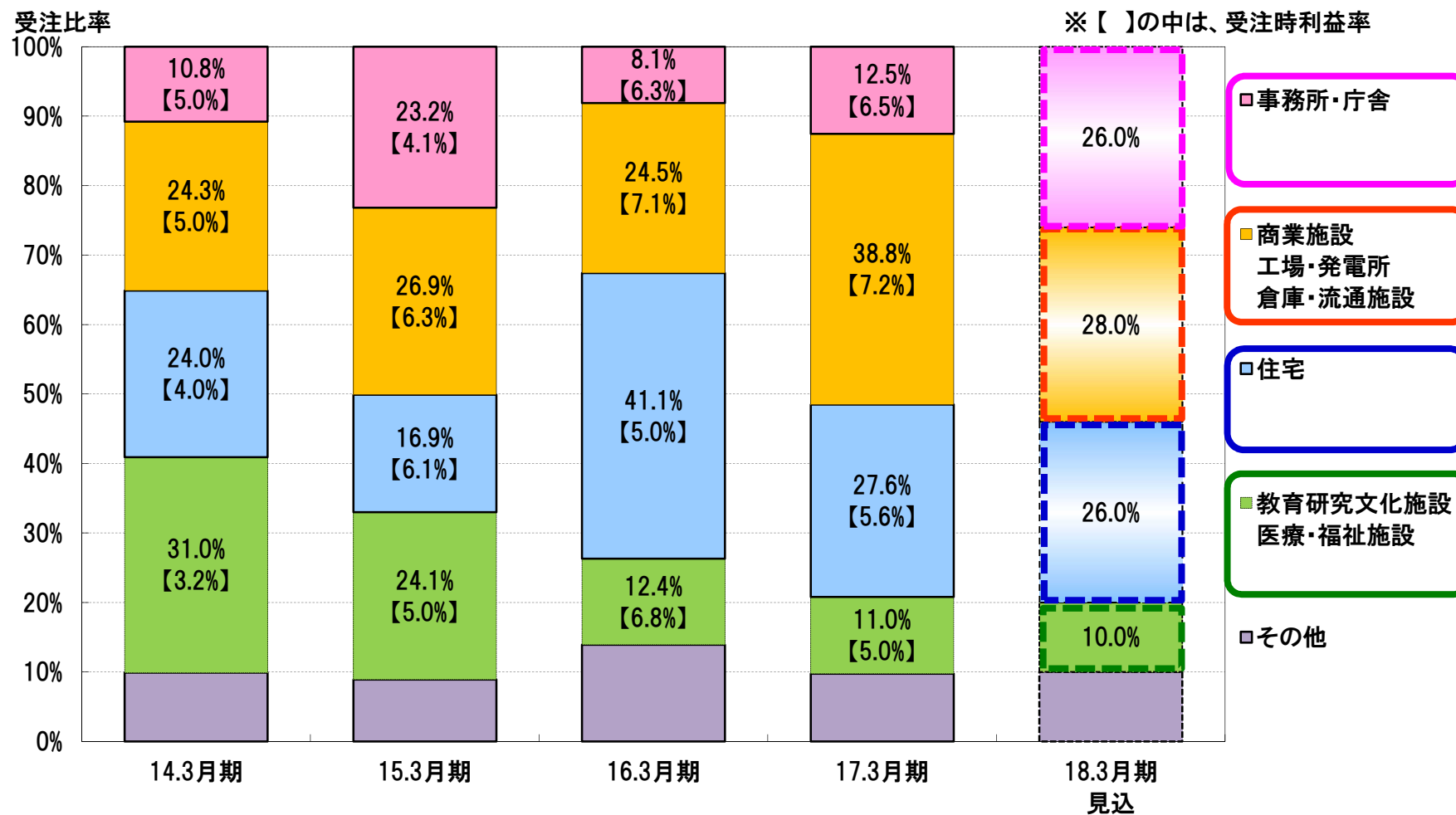
- 計画的な取組みの徹底により、受注時利益率が更に向上(17.3月期)
- 施工力を考慮した計画的な取組みの継続(18.3月期)

国内

海外



- 工場・流通施設の大型工事の受注が好調(17.3月期)
- 引き続き、バランス良く幅広い用途の受注を目指す(18.3月期)



土木事業

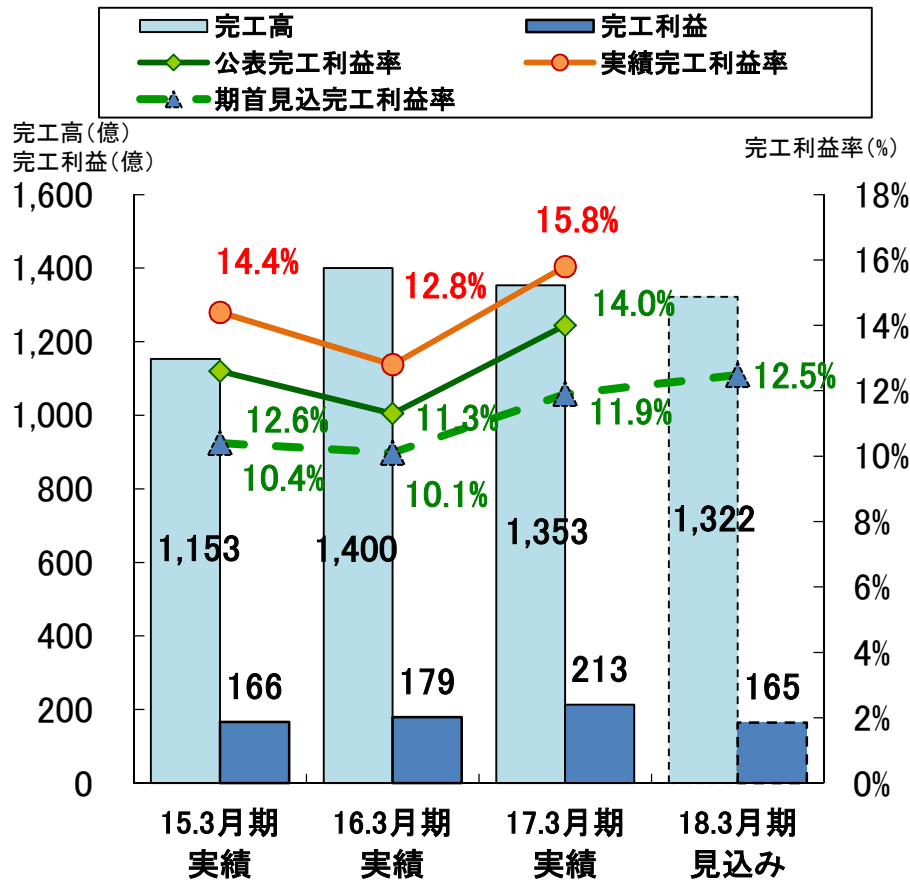
【国内】■設計変更獲得等により完工利益が増加(17.3月期)

■引き続き完工利益率・受注時利益率の向上に注力(18.3月期)

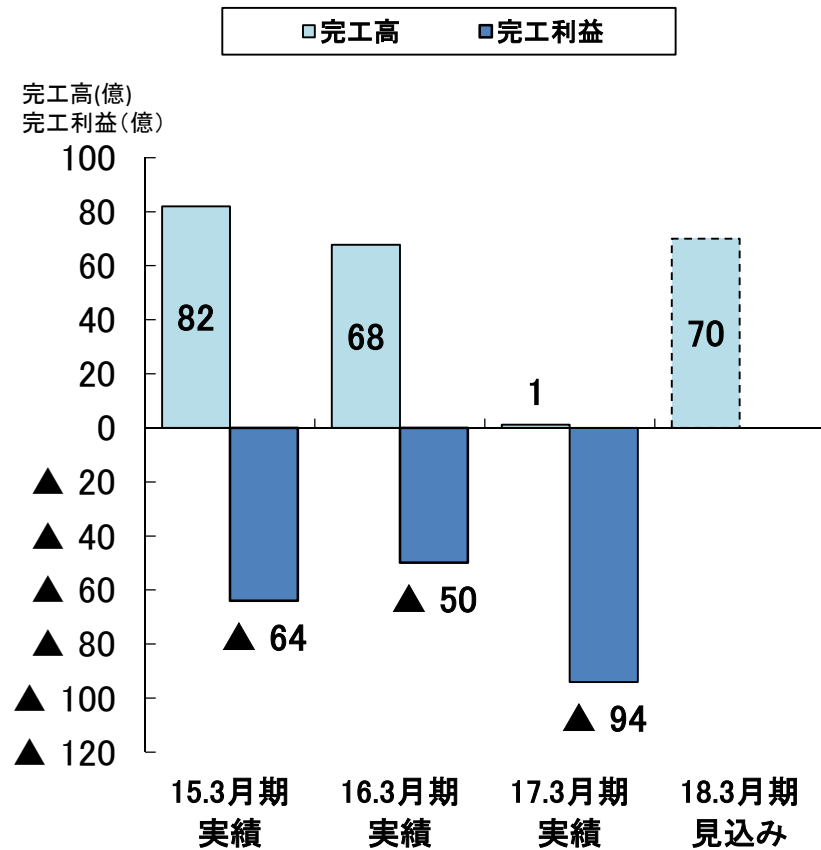
【海外】■完工利益は係争結果に基づく経費と設変・クレームの獲得見込みを見直す(17.3月期)

■大型工事の完成に伴い包括協議、係争による設変・クレームの獲得を目指す(18.3月期)

国内



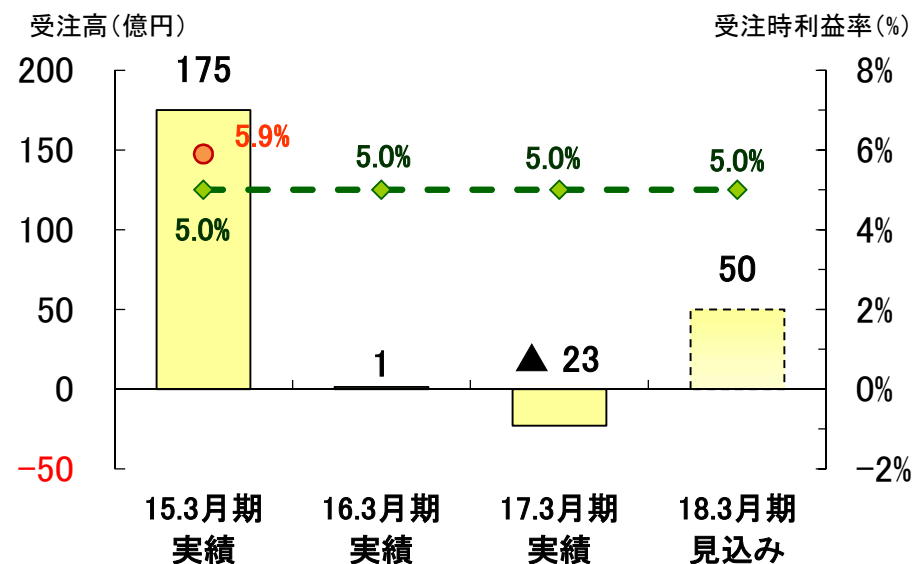
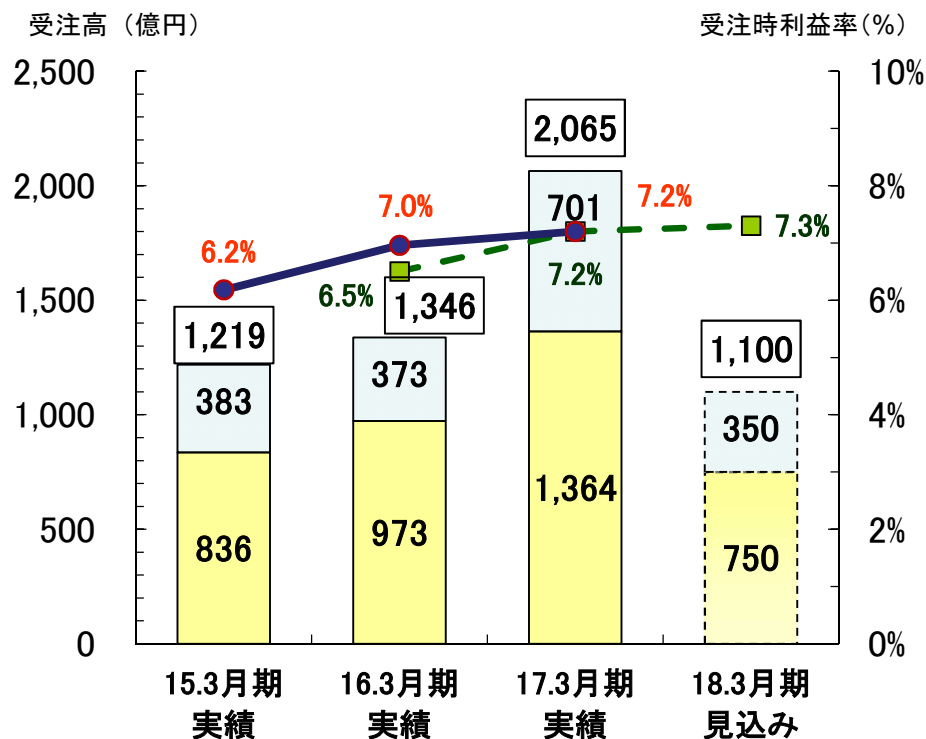
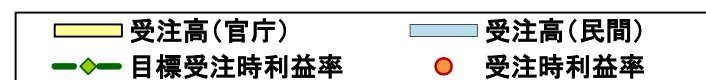
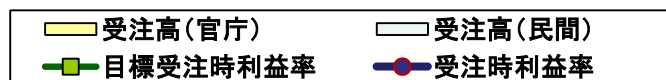
海外



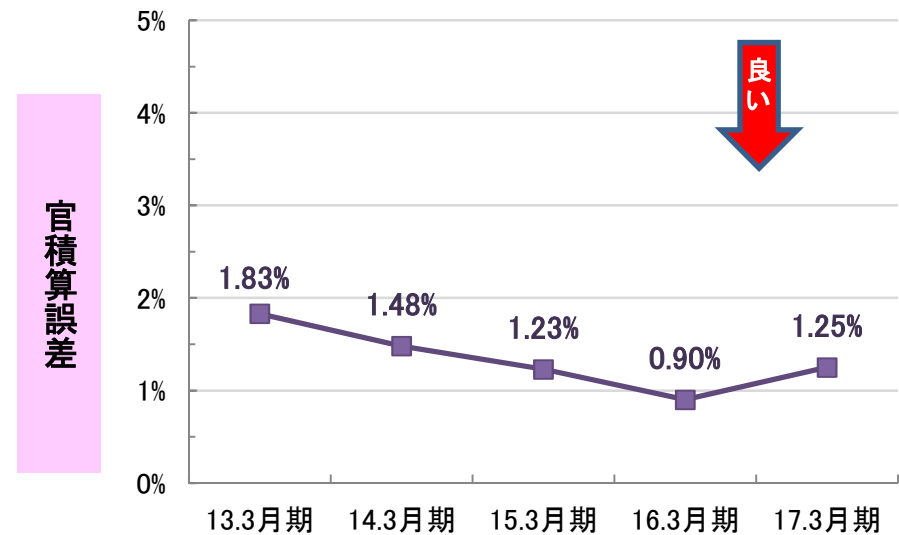
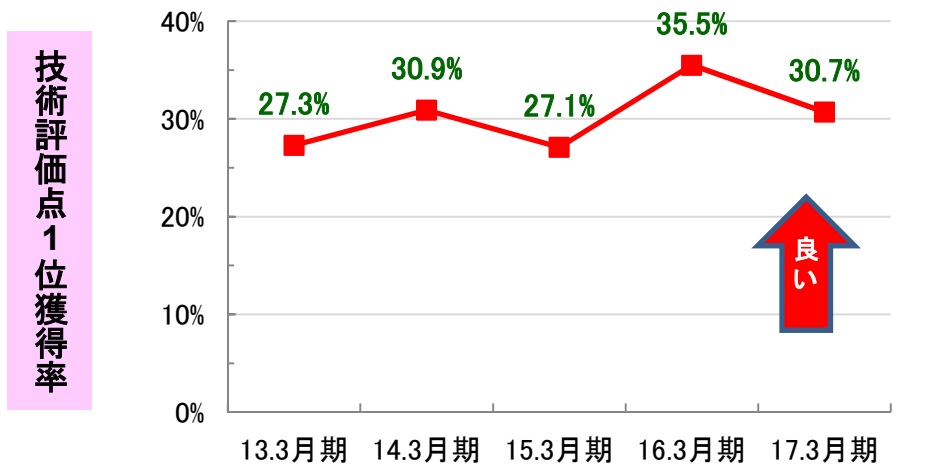
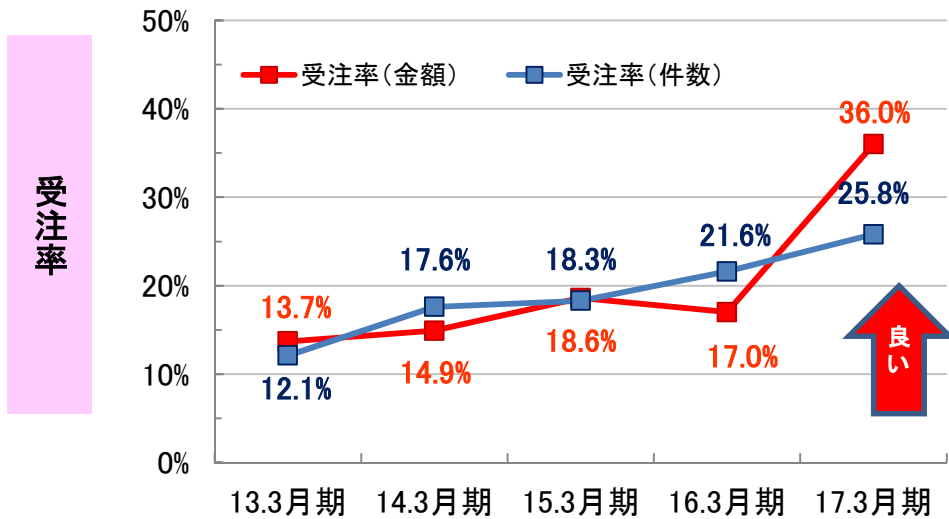
- 【国内】 ■ 大型工事受注等により当初計画を上回る2,065億円を達成(17.3月期)
 - 前期同様に施工体制および生産性を重視した計画的な応札により1,100億円を見込む(18.3月期)
- 【海外】 ■ 対応可能な案件の減少とリスクヘッジにより受注に至らず(17.3月期)
 - インドシタ諸国を中心としたODA案件に、情報分析・リスク評価を強化して対応する(18.3月期)

国内

海外



- 受注率は4期連続で向上傾向にあり、特に大型工事の受注により金額ベースの受注率が大幅に向上
- 技術評価点1位獲得率、官積算精度は高水準を維持



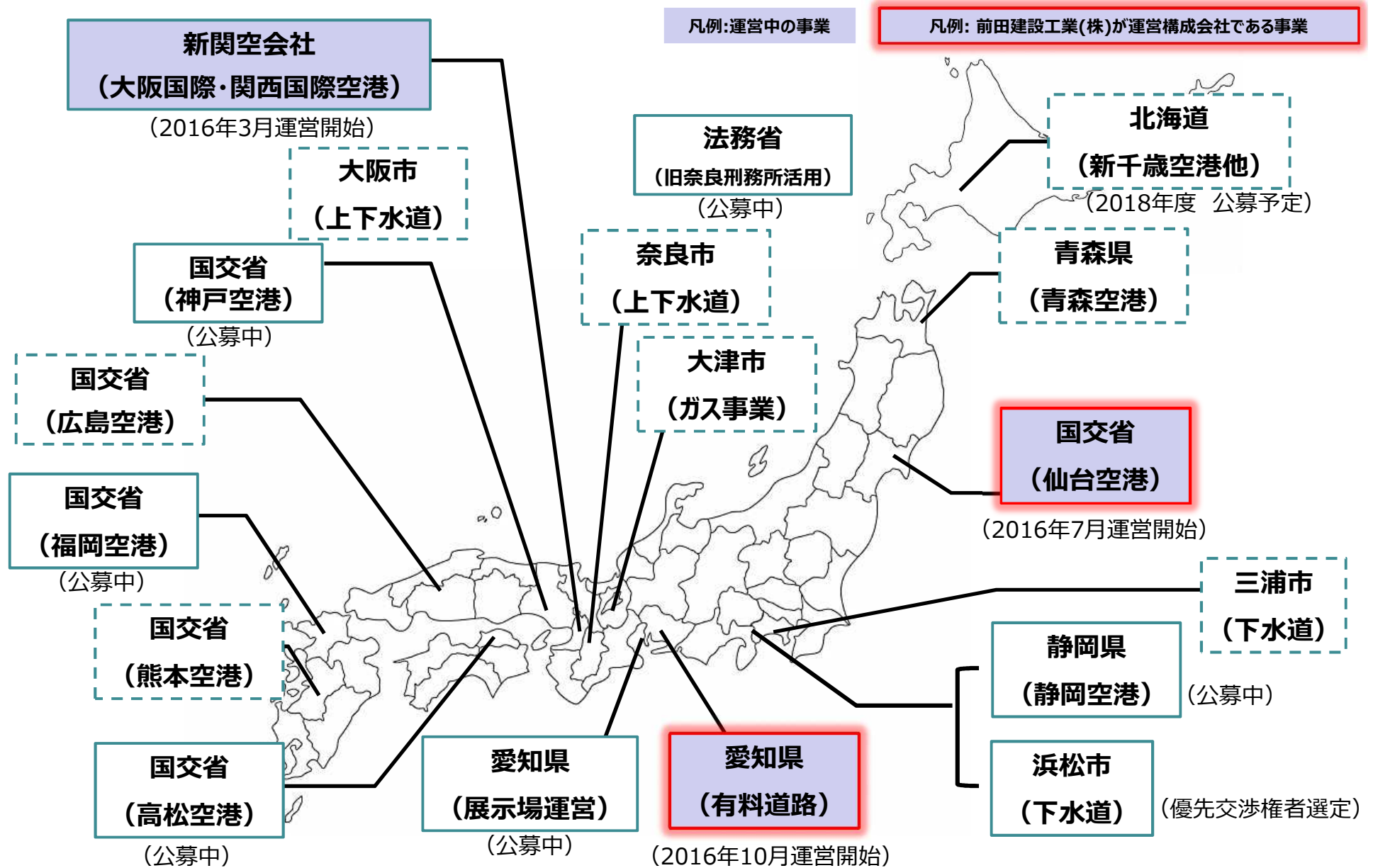
インフラ運営事業（脱請負）

事業区分	場所	規模(AC)	FIT 価格	総事業費	内容
太陽光	茨城県、つくば	2MW	40円	約6億円	2013年3月完成
	岩手県、大船渡	18MW	40円	約64億円	2015年8月完成
	茨城県、北茨城	6.5MW	36円	約21億円	2016年3月売却
	山口県	7MW	40円	約28億円	施工中
	山梨県	18MW	36円	約70億円	今年度着工予定
陸上風力	青森県、六ヶ所	20MW	22円	約113億円	2016年6月売却
	秋田県	20MW	22円	約72億円	6月着工予定
計		91.5MW		約370億円	
洋上風力	山口県、下関安岡	60MW	—	約350億円	事業開発中
バイオマス	東北	110MW	—	約500億円	事業開発中
地熱	北海道	2MW	—	約20億円	調査中
計		263.5MW		約1,240億円	

連結業績への貢献	2017.3期	2018.3期	2019.3期
(営業利益ベース)	22億円	38億円	44億円

※連結業績は 連結子会社の利益 + 単体業績貢献

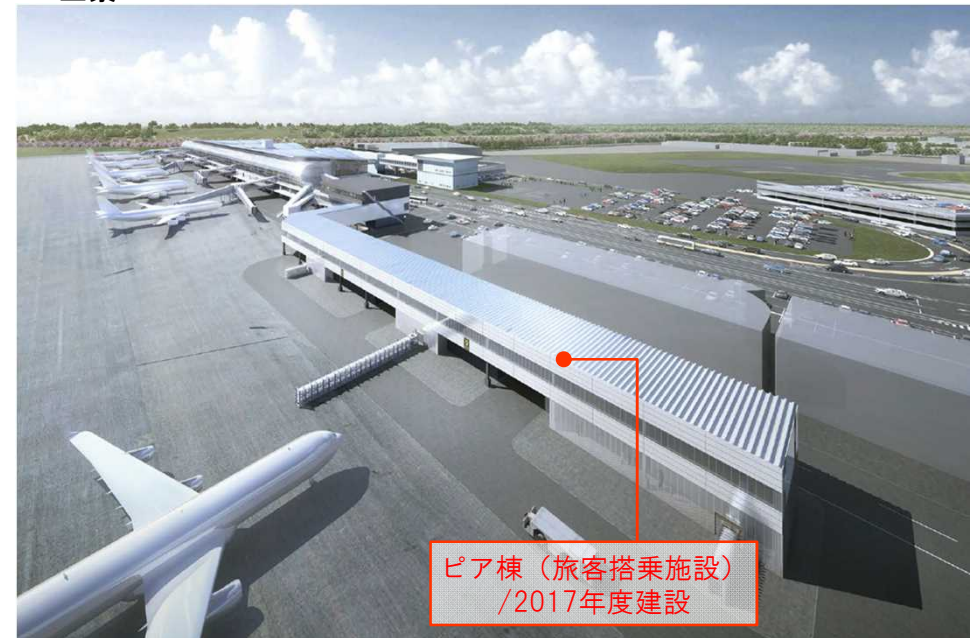
- ・2018.3期及び2019.3期は予想値
- ・再生可能エネルギー事業は工事完成基準で試算
- ・洋上風力、バイオマスは、2020.3期以降に業績貢献



スケジュール

- 2015年 9月 基本協定の締結
- 11月 仙台国際空港株式会社 設立
- 12月 運営権設定・実施契約の締結
- 2016年 2月 ビル事業運営事業開始
- 7月 空港事業運営開始
- 2016~19年 ターミナルビル内改修及び
ピア棟増築工事

■全景



■ターミナルビル1階(到着エリア)/2017年4月完成



2016年度の活動

- ・ 10月 1日
道路事業運営開始
- ・ 11月
改築工事を前田建設へ発注
(原価開示方式：CM方式)

業績	売上	営業利益
2017.3月期(半期)	75.1億	18.2億

工事名称	契約額
武豊北インターチェンジ(仮称)新設工事	58億
りんくうインターチェンジ出口追加工事	25億
大府PA(下り線)(仮称)新設工事	14億
阿久比PA(上り線)(仮称)新設工事	19億
ETCレーン増築工事	5億
橋梁床版防水工事	8億
道路情報板等の機能向上工事	16億
衣浦トンネル耐震補強工事★	20億
★2017.4月受注(73期)	計 169億



【会社概要】

会社名	グローバル・インフラ・マネジメント株式会社
設立日	平成29年4月3日
代表取締役会長	高橋 和夫 (東京急行電鉄株式会社 取締役専務執行役員経営企画室長 兼任)
代表取締役社長	岐部 一誠 (前田建設工業株式会社 取締役常務執行役員経営企画担当)
資本金	5,000万円
出資比率	前田建設工業株式会社 50% 東京急行電鉄株式会社 50%
会社所在地	東京都千代田区永田町
対象業務	<ul style="list-style-type: none"> ・空港等の運営をはじめとする国内外の PPP/PFI 及び コンセッション事業の開発・運営・コンサルティング ・技術力に裏打ちされた信頼性の高いプロジェクト開発 ・地域社会と資本市場の期待に応える効率的な運営手法開発 など

資料集

Appendix

(単位:億円)

	2016.3月期		2017.3月期				前期比 (b)-(a)	2018.3月期			
	通期実績		修正 (11/11)		通期実績			第2四半期見込		通期見込	
	(a)	(%)		(%)	(b)	(%)			(%)		(%)
売上高	4,417	100	4,200	100	4,226	100	▲191	2,240	100	4,450	100
売上総利益	412	9.3	445	10.6	477	11.3	65	243	10.8	526	11.8
一般管理費	225	5.1	250	6.0	246	5.8	21	128	5.7	256	5.8
営業利益	187	4.2	195	4.6	231	5.5	44	115	5.1	270	6.1
経常利益	230	5.2	232	5.5	274	6.5	44	125	5.6	300	6.7
親会社株主に帰属 する当期純利益	175	4.0	190	4.5	239	5.7	64	82	3.7	200	4.5

セグメント別売上高・売上総利益の内訳（連結）

（単位：億円）

売上高	2016.3月期		2017.3月期		2018.3月期	
	実績	(%)	実績	(%)	見込	(%)
建築	2,530	57.3	2,396	56.7	2,475	55.6
土木	1,320	29.9	1,357	32.1	1,408	31.6
製造	350	7.9	371	8.8	392	8.8
インフラ運営	13	0.3	85	2.0	160	3.6
その他	204	4.6	17	0.4	15	0.3
合計	4,417	100	4,226	100	4,450	100

売上総利益	2016.3月期		2017.3月期		2018.3月期	
	実績	(%)	実績	(%)	見込	(%)
建築	215	8.5	258	10.8	236	9.5
土木	125	9.4	124	9.1	174	12.4
製造	58	16.5	65	17.4	67	17.1
インフラ運営	4	28.8	23	27.0	43	26.9
その他	11	5.3	7	40.4	6	40.0
合計	412	9.3	477	11.3	526	11.8

主なグループ会社の業績推移と見込

〔連結子会社〕

(単位:百万円)

	(株)前田製作所			(株)エフビーエス			フジミ工研(株)		
	16.3期	17.3期	18.3期見込	16.3期	17.3期	18.3期見込	16.3期	17.3期	18.3期見込
売上高	32,815	33,391	32,500	16,828	15,196	15,510	4,829	6,240	10,100
営業利益	1,258	1,640	1,300	1,199	874	642	223	417	600
経常利益	1,332	1,691	1,350	1,223	889	667	249	436	600
当期純利益	832	1,259	950	781	604	434	240	462	531

	(株)ミヤマ工業			(株)JM			愛知道路コンセッション(株)		
	16.3期	17.3期	18.3期見込	16.3期	17.3期	18.3期見込	16.3期	17.3期	18.3期見込
売上高	5,900	6,932	6,500	29,142	23,880	24,000	-	7,512	15,265
営業利益	563	670	370	588	300	400	-	1,824	3,161
経常利益	569	673	370	585	308	398	-	899	1,508
当期純利益	374	410	240	377	303	250	-	805	1,345

〔持分法適用会社〕

(単位:百万円)

	前田道路(株)			東洋建設(株)			光が丘興産(株)		
	16.3期	17.3期	18.3期見込	16.3期	17.3期	18.3期見込	16.3期	17.3期	18.3期見込
売上高	221,141	221,034	225,000	141,378	137,776	168,000	45,935	46,917	45,000
営業利益	28,289	26,103	26,500	7,183	6,322	6,600	488	296	275
経常利益	27,976	26,356	26,700	6,380	5,572	6,200	682	544	515
当期純利益	16,248	17,579	18,000	4,170	3,931	4,300	393	455	342

(単位:億円)

	2016.3月期		2017.3月期				前期比 (b)-(a)	2018.3月期			
	通期実績		修正 (11/11)		通期実績			第2四半期見込		通期見込	
	(a)	(%)		(%)	(b)	(%)					(%)
受注高	3,889		4,250 修正(2/9)		4,502		613	2,080		3,350	
完工高	3,726	100	3,350	100	3,381	100	▲345	1,800	100	3,500	100
完工利益	313	8.4	334	10.0	353	10.4	40	179	9.9	383	10.9
一般管理費	157	4.2	174	5.2	178	5.3	21	89	4.9	175	5.0
営業利益	156	4.2	160	4.8	175	5.2	19	90	5.0	208	5.9
経常利益	165	4.4	170	5.1	194	5.7	29	104	5.8	223	6.4
当期純利益	129	3.5	150	4.5	190	5.6	61	71	3.9	150	4.3

受注の状況（個別）

（単位：億円）

		2016.3月期 実績	2017.3月期		2018.3月期	
			修正（2/9）	実績	第2四半期見込	通期見込
建築事業	国内	2,297	2,400	2,428	1,600	2,150
	官公庁	189	240	364	100	200
	民間	2,108	2,160	2,064	1,500	1,950
	海外	55	50	16	30	50
	建築事業 計	2,352	2,450	2,445	1,630	2,200
土木事業	国内	1,344	1,800	2,064	420	1,100
	官公庁	973	1,200	1,364	250	750
	民間	372	600	700	170	350
	海外	1	0	▲23	30	50
	土木事業 計	1,346	1,800	2,040	450	1,150
不動産事業		191	-	17	-	-
合計	国内	3,641	4,200	4,491	2,020	3,250
	官庁	1,162	1,440	1,728	350	950
	民間	2,480	2,760	2,763	1,670	2,300
	海外	56	50	▲6	60	100
	不動産事業	191	-	17	-	-
	総計	3,889	4,250	4,502	2,080	3,350

セグメント別完工高・完工利益の内訳

(単位:億円)

	2016.3月期		2017.3月期				2018.3月期				
	実績	(%)	修正 (11/11)	(%)	実績	(%)	第2四半期見込	(%)	通期見込	(%)	
完工高	3,726	100	3,350	100	3,381	100	1,800	100	3,500	100	
建築事業	国内	2,035	54.6	1,939	57.9	1,963	58.1	1,043	57.9	2,050	58.6
	海外	34	0.9	47	1.4	50	1.5	20	1.1	35	1.0
	建築事業 計	2,069	55.5	1,986	59.3	2,013	59.5	1,063	59.1	2,085	59.6
土木事業	国内	1,388	37.3	1,283	38.3	1,351	39.9	676	37.6	1,322	37.8
	海外	68	1.8	67	2.0	1	0.0	50	2.8	70	0.0
	土木事業 計	1,456	39.1	1,350	40.3	1,352	40.0	726	40.3	1,392	39.8
不動産事業	202	5.5	14	0.4	17	0.5	7	0.4	15	0.4	
インフラ運営事業	-	-	-	-	-	-	4	0.2	8	0.2	
完工利益	313	8.4	334	10.0	353	10.4	179	9.9	383	10.9	
建築事業	国内	172	8.5	200	10.3	222	11.3	100	9.6	202	9.9
	海外	1	4.2	2	4.3	4	8.9	1	5.0	2	5.7
	建築事業 計	174	8.4	202	10.2	226	11.2	101	9.5	204	9.8
土木事業	国内	178	12.8	179	14.0	214	15.8	70	10.4	165	12.5
	海外	▲50	▲73.7	▲53	▲79.5	▲94	-	1	1.6	0	0.0
	土木事業 計	128	8.8	126	9.3	120	8.9	71	9.8	165	11.9
不動産事業	10	5.2	6	42.9	6	38.6	3	42.9	6	40.0	
インフラ運営事業	-	-	-	-	-	-	4	100	8	100	

トピックス

Topics

● 事務所

工事名

神田練塀町地区第一種市街地再開発事業 施設建築物新築工事

発注者 : 神田練塀町地区市街地再開発組合
 構造規模: SRC,S造、地下2階／地上21階
 延床面積 30,799㎡
 工期 : 2017年4月～2019年6月



● 工場

工事名

ヤマザキマザックいなべ製作所新築工事

発注者 : ヤマザキマザック株式会社
 構造規模 : S造、地上2階
 延床面積 32,838㎡
 工期 : 2016年12月～2018年1月



● 住宅

工事名

九段北計画

発注者 : 住友不動産株式会社
・株式会社サンケイビル
構造規模: RC造、地上1階／地上19階
延床面積 7,748㎡
工期 : 2016年9月～2019年2月



● 医療施設

工事名

新中核病院建設工事

発注者 : 筑西市
構造規模: S造、地上6階
延床面積 19,393㎡ (250床)
工期 : 2016年12月～2018年8月

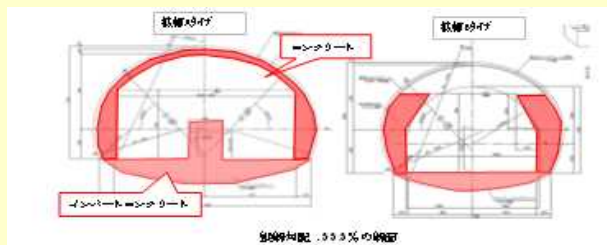


● ダム附帯工事

工事名

平成28年度 新丸山ダム転流工事

発注者 : 中部地方整備局
 施工場所: 岐阜県可児郡
 工事概要: 道路土工1式、トンネル工427m、
 河川土工1式、法面工1式
 工期 : 2016年9月～2019年3月

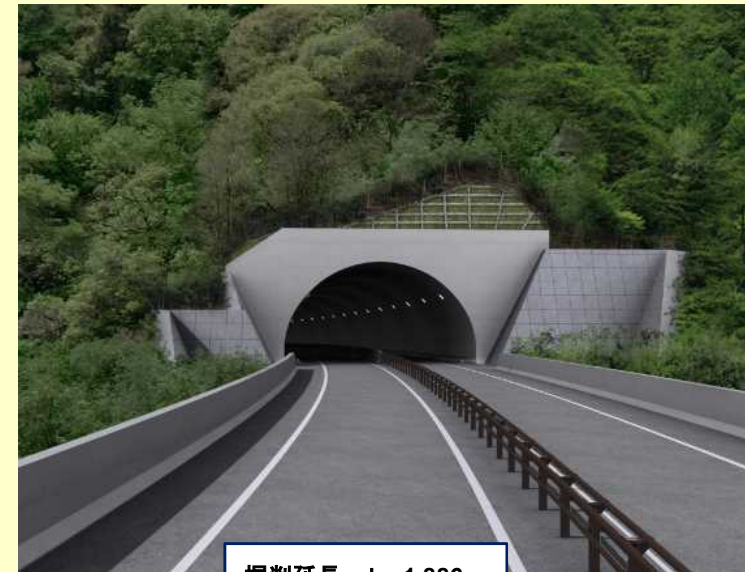


● 道路トンネル(山岳NATM)

工事名

国道106号 茂市トンネル工事

発注者 : 東北地方整備局
 施工場所: 岩手県宮古市
 工事概要: トンネル延長L=1,886m
 工期 : 2016年11月～2019年3月

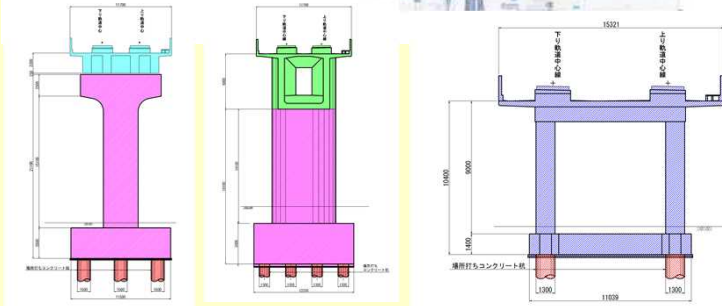


● 鉄道橋梁

工事名

北陸新幹線 足羽川橋りょう他

発注者 : 鉄道建設・運輸施設整備支援機構
 施工場所: 福井県福井市
 工事概要: 施工延長L=1,427m ラーメン高架橋7連、RC橋脚32基
 工期 : 2017年3月～2020年12月



● 上水道トンネル(TBM)

工事名

広島水道用水供給事業二期トンネル整備工事(海田～矢野工区)

発注者 : 広島県
 施工場所: 広島県安芸郡海田町
 工事概要: TBMトンネル 施工延長L=4,492m
 マシン外径φ= 2,700mm
 工期 : 2016年12月～2022年3月



【お問い合わせ先】

前田建設工業株式会社

総合企画部長 柘植 浩史

TEL : 03-5276-5131

FAX : 03-5276-5204

e-mail : htsuge@jcity.maeda.co.jp

この資料には、2017年5月15日現在の将来に関する見通し、及び計画に基づく予測が含まれており、
確約や保証を与えるものではありません。
経済情勢の変動等の様々な要因により、見通し予測等が実際の業績と異なる可能性がある点を認識
された上で、ご活用下さい。
